



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケミファ株式会社

コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 治樹

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,914	4.9	1,325	47.6	1,228	49.6	667	663.0
23年3月期第2四半期	13,264	14.5	898	221.3	821	300.4	87	87.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 688百万円 (172.5%) 23年3月期第2四半期 252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.89	—
23年3月期第2四半期	2.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	33,189	9,436	28.4	225.73
23年3月期	30,786	8,964	29.1	212.92

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,430百万円 23年3月期 8,959百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,100	6.4	2,500	25.1	2,300	26.5	1,100	92.0	26.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	42,614,205 株	23年3月期	42,614,205 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	833,761 株	23年3月期	534,333 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	42,024,314 株	23年3月期2Q	40,104,471 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業的前提に関する注記 .....	10
(5) 追加情報 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(8) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災とこれに伴う電力供給不安の影響に加え、欧州ソブリンリスクに端を発した急激な円高の進行等により、先行きの不透明感が増しています。

医薬品業界におきましては、来年4月に実施が予定されている診療報酬と薬価基準の改定に向けて、ジェネリック医薬品の更なる使用促進に向けた施策の検討が始まっています。

当社グループは、このような環境下で、「信頼できるジェネリック医薬品」の普及に貢献するべく、新薬メーカーの実績に基づく安心と責任をベースにした取り組みを全社一丸となって進めてまいりました。特に生産面では、昨年10月に当社工場を当社完全子会社の日本薬品工業株式会社へ吸収分割し、グループ全体でサプライチェーンの生産性及び効率性の向上への取り組みを、より一層推し進めてまいりました。

また、これらの活動に加えて、株主還元水準の向上を図るべく、当第2四半期連結会計期間におきまして、自己株式の取得を開始しました。

## (医薬品事業)

医薬品事業の業績はジェネリック医薬品の売上が前年同期比9.8%の増収となったことにより、医薬品事業全体の売上高は13,391百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は1,277百万円(前年同期比37.9%増)となりました。

## (その他)

主に受託試験事業及び健康食品事業である「その他」の事業の業績は、受注が前年同期に比べ順調に増加しましたが、一部の試験の完成が第3四半期以降にずれ込んだこと等により、売上高は523百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益は18百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,914百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は1,325百万円(前年同期比47.6%増)、経常利益は1,228百万円(前年同期比49.6%増)、四半期純利益は667百万円(前年同期比663.0%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## 1)資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて2,634百万円増加し、19,733百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金並びに現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて229百万円減少し、13,438百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2,402百万円増加し、33,189百万円となりました。

## 2)負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて1,022百万円増加し、13,058百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金並びに1年内返済予定の長期借入金の増加によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて907百万円増加し、10,694百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,930百万円増加し、23,752百万円となりました。

## 3)純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて471百万円増加し、9,436百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が540百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、営業活動により15百万円減少いたしました。また投資活動においては79百万円の減少、財務活動においては754百万円の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は5,668百万円(前年同期比40.3%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金は税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加があったものの、主にたな卸資産及び売上債権の増加により、15百万円の減少(前年同期は750百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金は主に固定資産の取得により、79百万円の減少(前年同期は453百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金は主に長期借入金の返済、金銭の信託の支出及び社債の償還があったものの、長期借入れがあり、754百万円の増加(前年同期は107百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成23年5月11日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,068	5,726
受取手形及び売掛金	8,343	9,210
商品及び製品	1,987	2,579
仕掛品	561	732
原材料及び貯蔵品	347	459
金銭の信託	—	262
繰延税金資産	685	678
その他	105	83
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,098	19,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,140	3,234
機械装置及び運搬具 (純額)	730	736
工具、器具及び備品 (純額)	225	228
土地	5,550	5,550
リース資産 (純額)	366	427
建設仮勘定	41	22
有形固定資産合計	10,054	10,200
無形固定資産		
のれん	692	606
リース資産	20	26
ソフトウェア	30	26
電話加入権	20	20
無形固定資産合計	763	679
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035	1,074
長期貸付金	7	9
敷金及び保証金	120	113
繰延税金資産	339	331
その他	1,388	1,094
貸倒引当金	△41	△63
投資その他の資産合計	2,849	2,559
固定資産合計	13,667	13,438
繰延資産		
社債発行費	20	17
繰延資産合計	20	17
資産合計	30,786	33,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,235	4,924
短期借入金	992	1,140
1年内償還予定の社債	470	420
1年内返済予定の長期借入金	2,595	2,965
リース債務	86	106
未払金	41	120
未払法人税等	675	519
未払消費税等	148	52
未払費用	1,860	2,041
預り金	59	63
返品調整引当金	4	4
販売促進引当金	316	317
その他	551	382
流動負債合計	12,035	13,058
固定負債		
社債	1,105	920
長期借入金	5,800	6,799
リース債務	325	375
退職給付引当金	678	724
役員退職慰労引当金	277	275
受入敷金保証金	9	9
再評価に係る繰延税金負債	1,589	1,589
固定負債合計	9,786	10,694
負債合計	21,821	23,752
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	1,522	2,063
自己株式	△163	△253
株主資本合計	6,960	7,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△13
土地再評価差額金	2,033	2,033
その他の包括利益累計額合計	1,998	2,019
新株予約権	5	5
少数株主持分	0	—
純資産合計	8,964	9,436
負債純資産合計	30,786	33,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)
売上高	13,264	13,914
売上原価	6,339	6,298
売上総利益	6,924	7,616
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	6,925	7,616
販売費及び一般管理費	6,027	6,290
営業利益	898	1,325
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	16	16
固定資産賃貸料	8	8
持分法による投資利益	3	5
補助金収入	28	10
その他	8	11
営業外収益合計	67	53
営業外費用		
支払利息	108	104
手形売却損	8	7
支払手数料	13	13
その他	13	24
営業外費用合計	144	151
経常利益	821	1,228
特別損失		
固定資産除却損	0	12
投資有価証券評価損	272	—
その他の投資評価損	23	8
貸倒引当金繰入額	—	21
災害による損失	—	40
組織再編費用	17	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	—
特別損失合計	322	82
税金等調整前四半期純利益	498	1,145
法人税、住民税及び事業税	400	477
法人税等調整額	△69	0
法人税等合計	330	477
少数株主損益調整前四半期純利益	167	667
少数株主利益	80	0
四半期純利益	87	667

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	20
その他の包括利益合計	85	20
四半期包括利益	252	688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	688
少数株主に係る四半期包括利益	81	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	498	1,145
減価償却費	376	347
社債発行費償却	2	3
のれん償却額	65	86
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	21
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△29	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35	45
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△2
受取利息及び受取配当金	△19	△17
支払利息	108	104
手形売却損	8	7
固定資産除却損	4	19
投資有価証券評価損益(△は益)	272	—
その他の投資評価損	23	8
売上債権の増減額(△は増加)	△340	△866
たな卸資産の増減額(△は増加)	△396	△874
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17	23
仕入債務の増減額(△は減少)	821	689
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△154	63
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63	△92
長期前払費用の増減額(△は増加)	△8	△1
その他	7	1
小計	1,212	712
利息及び配当金の受取額	20	20
利息の支払額	△118	△116
法人税等の支払額	△364	△631
営業活動によるキャッシュ・フロー	750	△15
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24	△28
定期預金の払戻による収入	30	30
固定資産の取得による支出	△356	△366
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付けによる支出	△2	△4
貸付金の回収による収入	2	1
差入保証金の回収による収入	12	11
長期預金の払戻による収入	—	500
長期預金の預入による支出	△100	△200
その他の支出	△8	△11
その他	△4	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453	△79

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60	148
長期借入れによる収入	1,100	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,369	△1,431
社債の発行による収入	500	—
社債の償還による支出	△245	△235
金銭の信託の増減額 (△は増加)	—	△262
配当金の支払額	△115	△126
その他	△37	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107	754
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189	659
現金及び現金同等物の期首残高	3,850	5,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,040	5,668

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
該当事項はありません。

## (5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

## (6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	12,678	586	13,264	—	13,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	102	110	△110	—
計	12,686	688	13,375	△110	13,264
セグメント利益又は損失(△)	926	△30	896	1	898

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・美容関連事業、安全性試験の受託等及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ②報告セグメントの変更等に関する情報

当第2四半期連結会計期間から、「医薬品事業」に含めておりました不動産賃貸業は、一部の賃貸等不動産から今後継続的な収入が見込めるため、「その他」に含めることに変更しております。

## ③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬品事業」セグメントにおいて、平成22年7月1日に当社を完全親会社、日本薬品工業株式会社を完全子会社とする株式交換を行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間においては424百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	13,391	523	13,914	—	13,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	42	64	△64	—
計	13,413	565	13,978	△64	13,914
セグメント利益	1,277	18	1,295	30	1,325

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・美容関連事業、安全性試験の受託等及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社は、平成23年8月24日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を実施いたしました。主にこの結果により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が89百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は253百万円となっております。

(8) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。